

### 精神科患者

# 長期入院3.9万人削減

## 厚労省 20年度末まで目標

厚生労働省は、統合失調症などで精神科に長期入院する患者を二〇二〇年度末までに全国で最大三万九千人減らす目標を決めた。日本

ず、実現には財源の確保のほか、医療関係者の協力や住民の偏見の解消が必要になる。

本の精神科入院患者数は国際的にも高水準で、一年以上の長期入院は一四九千現

厚労省の調査では、全国の医療機関で精神科に入院している患者は全体で二十八万九千人。このうち64%を占める長期入院患者を二〇年度末までに二万八千人

在、十八万五千人に上る。少人数で生活するグループホームなどを整備し地域社会で暮らせる人を増やす方針だ。

〇年度末までに二万八千人は、自治体がつくる一八年度以降の障害福祉計画に反映させる。

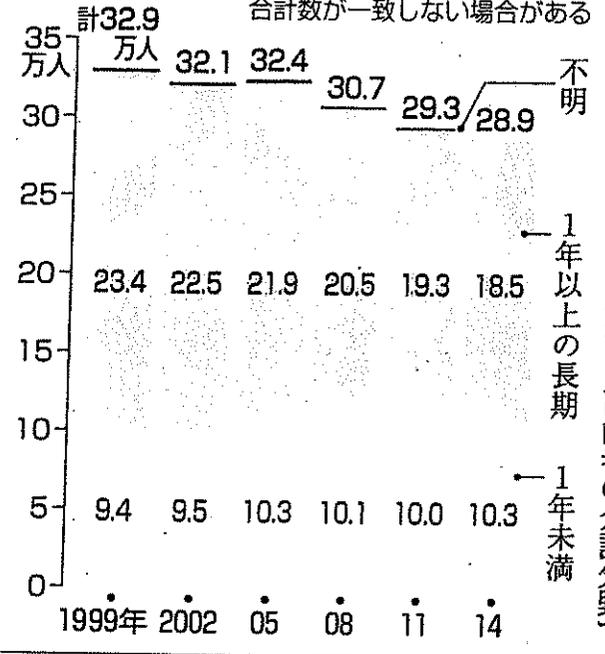
長期入院は過去の隔離收容政策の影響が一因で、人権上の問題が指摘されている。以前にも減らす目標を掲げたが達成できておら

厚労省は患者が社会で安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築を目指す。高齢者の介護分野で

導入が進む仕組みにならうて、医療や福祉関係者が連携できる協議の場を設け患者が自宅やグループホームなどで幅広い支援を受けられるようにする。効果的な治療薬の普及も進める。現在いる長期入院患者の退院を促すほか新規の患者の入院が長引かないようにして削減目標を実現させた考え。新たに入院する患者のうち二カ月後の退院者数を69%以上、六カ月後で84%以上、一年後では90%以上とする目標も定めた。

### 精神科病床の入院患者数

※厚生労働省の患者調査による。四捨五入のため合計数が一致しない場合がある



35  
30  
25  
20  
15  
10  
5  
0

万人

1999 2002 05 08 11 14